

2023年9月20日(水)第三水曜祈祷会  
コリント人への手紙第二10章1～18節  
『主に推薦される人』

**序論:**コリントの手紙第二の構造は、3つの区分に分けられる。

- ①1-7章では、パウロは自分が本物の使徒であって、その務めについて友好的に説明している。
- ②8-9章では、エルサレム教会の貧しい聖徒たちのための献金と祝福について説明している。
- ③10-13章では、パウロは教会に入り込んでいた偽りの教師の非難・攻撃に対して答えている。

**本論:**『主に推薦される人』

1. 「パウロの批判者たちへの警告」(1～6節) \*「私パウロ」とは個人的な意見であるということ。

①偽りの教師(批判者)たちは、パウロのことをどのように言っていましたか。

→

②「肉に従って歩んでいる」とはどういう意味ですか。

→

③パウロが言っている「私たちの戦い」とはどういうものですか。

→

2. 「パウロの首尾一貫性」(7～11節) \*人はうわべを見るが、主は心を見る(Ⅰサムエル16:7)。

①「キリストに属している人」とはどういう人のことですか。

→

②パウロに与えられた権威はどのようなものですか。

→

③パウロが「手紙では力強いが、実際に会うと弱々しい」と思われたのはなぜですか。

→

3. 「誇る者は主を誇れ」(12～18節) \*パウロは批判者たちから臆病者だと非難されてきた。

①パウロが誇りとしているものはどのようなものですか。

→

②宣教におけるパウロと批判者たちの違いは何ですか。

→

③「誇る者は主を誇れ。」とはどういうことですか。エレミヤ9:24、Ⅰコリント1:31

→

**【適用と分かち合い】**

①私たちの霊的な戦いの武器とは具体的にどんなものがありますか。

②私たちはキリストの柔和さと寛容さをどうしたら表すことができますか。

③私たちクリスチャンが誇りとするものはどのようなものですか。